

日時：令和元年10月19日(土) 16時30分～18時

会場：名古屋市ささしまライブ24エリア・メインホールB

(〒453-0872 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-12 最寄駅あおなみ線「ささしまライブ駅」)

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会、防災学術連携体

趣旨

地球温暖化の影響で気象現象は明らかに激化しており、従来の想定よりも激しい豪雨・暴風や高潮などに対して、防災・減災の準備を着実に進める必要があります。日本学術会議、防災学術連携体と57の会員学会などは、これらの災害の軽減に向けて、様々な分野の研究を続けています。防災には「自助・共助」「地域での連携」が大切であり、各地の消防団、町内会や自治体、学校や職場では、防災訓練や教育が続けられています。これらの活動と連携して、学術分野で得られている知見を正しく社会に伝え、互いに情報を共有することが、地域の防災力強化のために極めて重要です。

ここでは防災推進国民大会2019におけるセッションとして、気象災害を対象に、市民の皆様が知りたい防災科学の最前線をわかりやすく伝え、市民の皆様から防災科学に関する質問やリクエストを受け付け、各分野の研究者が答えます。

Program

司会	日本学術会議連携会員、防災学術連携体副代表幹事	目黒公郎
16:30 開会挨拶	日本学術会議会員、防災減災学術連携委員長	米田雅子
16:31 趣旨説明	防災学術連携体代表幹事、早稲田大学教授	古谷誠章
16:33 講演：気象災害への防災・減災に関する課題と防災科学への期待(仮案)	岐阜県危機管理部防災課長	岩田秀樹
16:40 講演・防災科学の最前線(7分×10学会)		
日本気象学会	地球温暖化に伴う台風の変化と台風防災のための航空機観測	坪木和久
日本リモートセンシング学会	衛星データを利用した気象災害への取組み	伊東明彦
日本風工学会	台風・竜巻から身を守る	小林文明
日本自然災害学会	土砂災害からみた最近の豪雨の評価	林 拙郎
日本建築学会	2018年西日本豪雨による被害と土砂災害警戒区域	三浦弘之
日本応用地質学会	2018年西日本豪雨災害における地質・地形的要因と避難行動	鈴木茂之
土木学会	日本全国の中小河川を対象にした洪水・氾濫予測の最新技術	佐山敬洋
日本地理学会	水害ハザードマップを補う地形分類図	海津正倫
日本災害医学会	伊勢湾台風の経験を元にした病院の災害対応と備え	北川喜己
日本ロボット学会	病院におけるAI技術を利用した発災時対応技術	藤重 裕
17:50 質問コーナー「あなたの質問に答えます」		
	一般市民からの質問と講演者による回答 ----	
	質問の残りは、質問箱に入れていただき、後日HPにて回答します	
18:00 閉会挨拶	日本学術会議連携会員、防災学術連携体事務局長	田村和夫

参加費：無 料 (ご家族、お友達をお誘い合わせご参加により、有意義な会合にしたいと思います)

申込み：以下のURLをクリックして参加申込をお願いします。(当日の直接参加も可能)

<https://ws.formzu.net/fgen/S43949681/>

※当日発表資料は防災学術連携体ホームページに前日までに掲載します

https://janet-dr.com/060_event/20191019.html

お問い合わせ：防災学術連携体 榎本和正(日本建築学会) 電話 03-3456-2057

Email:enomoto@aij.or.jp

ぼうさいこくたい2019Webサイト：<http://www.bosai-kokutai.jp/>

あなたが知りたい防災科学の最前線
激化する気象災害に備える